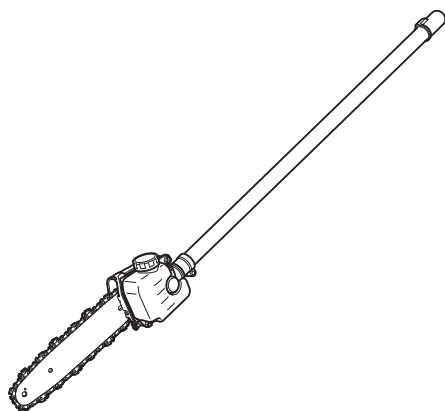
ヒューマンハードウェアのマキタ
人の暮らしとすまいのために……

取扱説明書

ポールソー
アタッチメント

モデル EY401MP

このたびはポールソーアタッチメントをお買い上げ賜わり厚くお礼申し上げます。ご使用に先立ち、この取扱説明書をよくお読みいただき本機の性能を十分ご理解の上で、適切な取り扱いと保守をしていただいて、いつまでも安全に能率よくお使いくださるようお願いいたします。
なお、この取扱説明書はお手元に大切に保管してください。

目次

主要機能

主要機能 ＼ モデル		EY401MP
ガイドバー長さ		255mm
チェーン刃	型式	91VXL-39E
	ゲージ	1.3mm（0.050"）
スプロケット刃数		7
チェーンオイル		マキタ純正チェーンオイル
給油方式		自動
オイルタンク容量		120mL
本機寸法		長さ 1,166mm ×幅 74mm ×高さ 105mm
質量		1.0kg （ガイドバー、チェーン刃は除く）

・ 改良のため、主要機能および形状などは変更する場合がありますので、ご了承ください。

注意文の ⚠警告 ・ ⚠注意 ・ 注 の意味について

ご使用上の注意事項は ⚠警告 と ⚠注意 ・ 注 に区分していますが、それぞれ次の意味を表します。

⚠警告 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容のご注意。

⚠注意 ：誤った取り扱いをしたときに、使用者が傷害を負う可能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定される内容のご注意。 なお ⚠注意 に記載した事項でも、状況によっては重大な結果に結びつく可能性があります。いずれも安全に関する重要な内容を記載していますので、必ず守ってください。

注 ：製品および付属品の取り扱いなどに関する重要なご注意。

安全上のご注意

ポールソーアタッチメントを安全に使用頂くため、次の事項を必ず守ってください。

1. 本機をお使いになる前に

・ 本機は枝切り専用機です。不測の事故を防ぐため、本来の使用目的以外には使わないでください。
・ 本機は高速回転するチェーンを装備しています。操作を誤ると大変危険です。次のような場合は作業を行わないでください。
①疲労など体調が悪い場合や、かぜ薬の服用時、飲酒時での作業。
②風の強い日や降雨、雷など天候の悪い時。
③夜間や濃霧など、周辺の状況判断がむずかしい時。
④子供や、説明を受けていない人には使用させないでください。
・ 作業は 30 ～ 40 分を限度とし、10 ～ 20 分休憩を取り、決して無理な作業はしないでください。
・ この取扱説明書は必ず保管して、分からないことがあった場合、必要に応じてご参照ください。
・ 本製品を譲渡または貸与するときは、使用方法の説明とともに、この取扱説明書を必ず添付してください。

2. 服装、防護具の着用

・ 作業に適した服装、および防護具（保護帽、保護メガネ、安全靴、防振手袋、耳栓、長そで、長ズボン等）を着用してください。

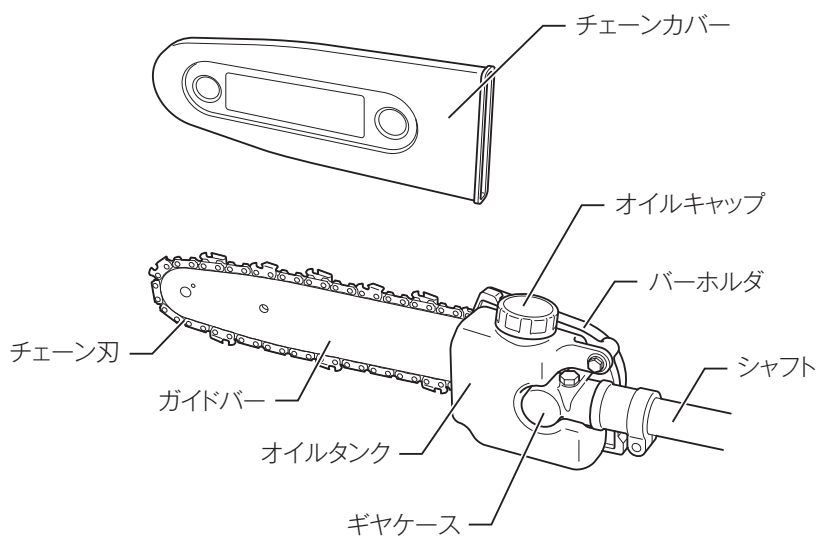
3. 作業前の点検

・ 作業前には必ず各項目に従って点検を行ってください。
・ 点検は必ず停止した状態で行ってください。
・ チェーン刃着脱や目立て時にはけが防止のため必ず丈夫な手袋を着用して作業してください。
・ 本機の改造、分解はしないでください。故障や正常な操作ができなくなる危険性があります。
・ 各ボルト、ナット、シャフトにゆるみやガタがないこと、特にチェーン刃回りの組込みが完全なこと、ギヤケースの支持部にガタのないことを確認してください。
・ チェーン刃やガイドバーに「亀裂」「欠け」「曲がり」などがないことを確認し、異常のある場合は新品のチェーン刃やガイドバーと交換してください。
・ 交換部品はすべて、純正部品を必ず使用してください。特にチェーン刃やガイドバー取付部への代用部品の使用はさけてください。
・ 作業終了後バーホルダをはずし、バーホルダ内に入りこんだ切粉などを取り除いてください。

4. 作業時の注意

- 製品始動の際、周囲に人がいないこと、ガイドバーやチェーン刃が地面やその他のものに触れていないことを確かめてください。
- 作業者の周囲 15 m以内に人を近づけないでください。
- 本機には感電防止の絶縁処理はなされていません。感電の恐れがありますので電線から 15m 以上離れて作業してください。
- 使用中異状振動や異常音を感じたら、ただちにスイッチを切り詳細に点検してください。
- 転倒や不意の姿勢変化により、本機が作動して思わぬ負傷をすることがあります。次のような場合は必ず、製品を停止してください。
  ①移動や作業が終了して、本機を持ち運びする場合。
  ②切粉などを取り除く場合。
  ③作業中に後方より声をかけられた場合、振り向く前に製品を停止してください。
- 切断した枝が落ちてきて思わぬけがをすることがありますから、枝の落ちる方向を十分注意してください。
- 傾斜地などは滑りやすいので足元に十分注意してください。
- 作業が終わって移動、または収納する場合はチェーン刃にチェーンカバーを必ず取り付けてください。

その他の注意事項は、ポールソーアタッチメントを取り付けるお手持ちの製品の取扱説明書をご参照ください。

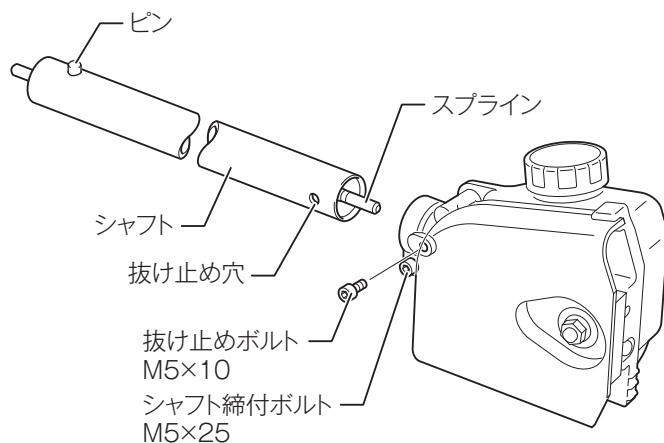
各部の名称

標準付属品

・ チェーンカバー
・ ボックスレンチ
・ マイナスドライバ
・ ガイドバー
・ チェーン刃

シャフトの取り付け

⚠ 注意

確実に取り付け、締め付けられていないと作業中にネジがゆるんで本機がはずれて、思わぬけがをすることがあります。

1. 本機の抜け止めボルトをはずし、シャフト締付ボルトをゆるめてください。
2. 本機のシャフト取付部にシャフトを差し込んでください。ピンが必ず上側になるよう確認してください。
3. シャフトの中のドライブシャフトのスプラインが本機のピニオンギヤのスプラインに接続されたかどうか確認してください。
4. シャフトの抜け止め穴と本体の抜け止め穴ネジを合わせて抜け止めボルトM5 × 10 を六角棒レンチで締め付けてください。
5. シャフト締付ボルト M5 × 25 を確実に締め付けてください。

使い方

製品への取り付け

⚠ 警告

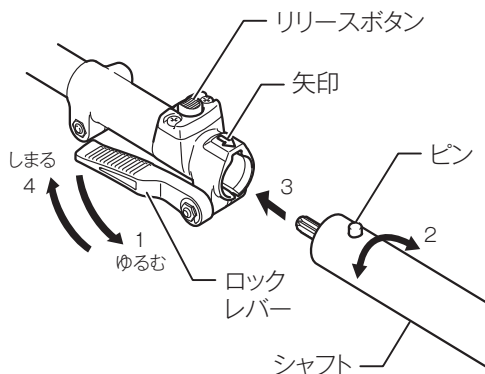
ポールソーアタッチメントの取り付け・取りはずしの際は、製品のスイッチを切り、充電式製品は、バッテリを抜いてください。エンジン製品はスパークプラグからプラグキャップをはずしてください。

・ 製品が作動して、けがの恐れがあります。

1. ロックレバーがゆるんでいることを確認します。
2. 矢印マークにピンの位置を合わせます。
3. シャフトを製品の奥まで差し込み､リリースボタンが上がるのを確認します。
4. ロックレバーを矢印（4）の方向に動かし、しっかり固定します。

・ 取りはずすときは、ロックレバーをゆるめ、リリースボタンを押してシャフトを抜いてください。

注

・ **シャフトが挿入されていない状態でロックレバーを閉めないでください。破損の原因になります。また、リリースボタンが上がっていない状態でロックレバーを閉めないでください。**

ガイドバーとチェーン刃の取り付け

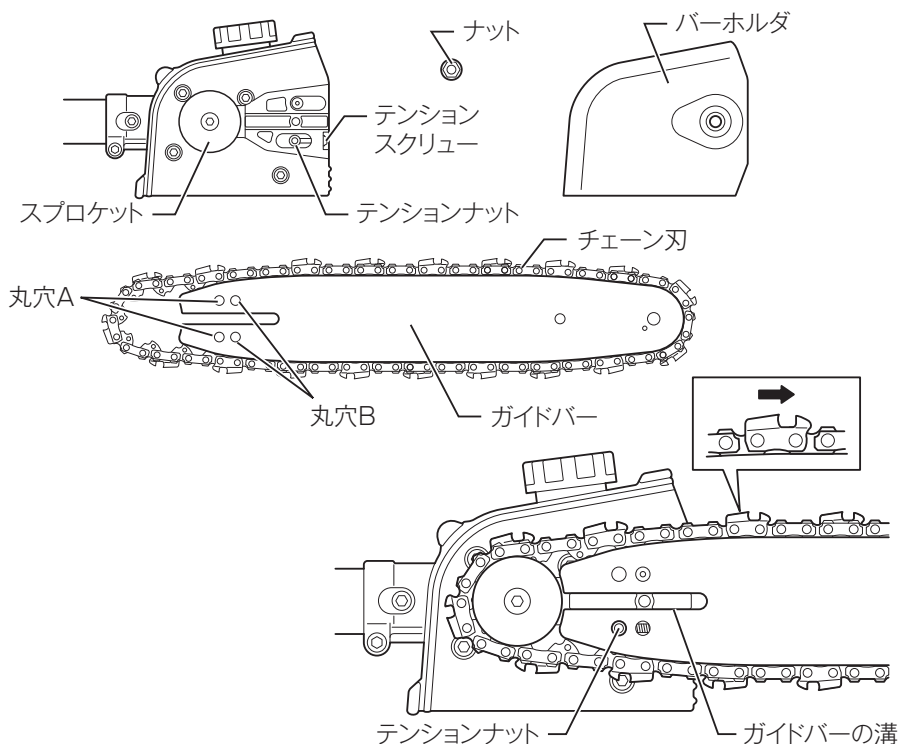
⚠ 警告

- 作業途中でチェーン刃を点検、調整するときは、スイッチを切り、停止してから行ってください。充電式製品は、バッテリを抜いてください。
- 作業停止直後のガイドバーやチェーン刃が熱いときは調整をやめ、冷めてから行ってください。
- チェーン刃の張りが弱い状態で使用すると、チェーン刃がはずれて事故のもとになります。必ず使用前に点検してください。

⚠ 注意

切り傷防止のため、チェーン刃を装着する場合は必ず手袋を着用してください。

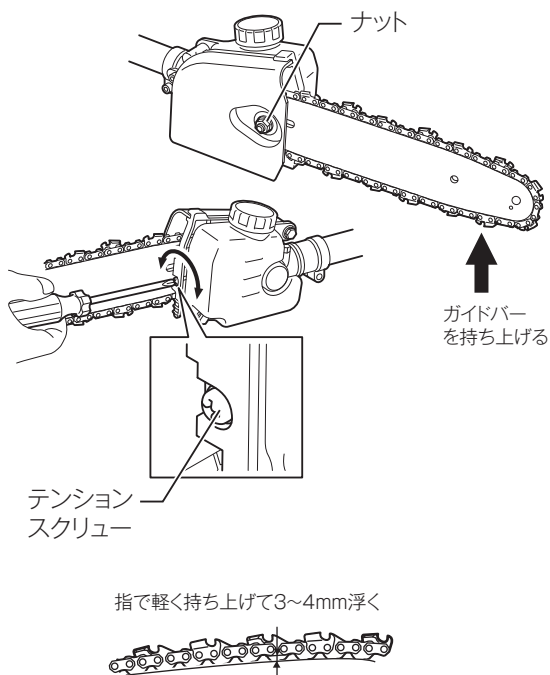
使い方

1. チェーン刃の刃先が前になるようガイドバーの溝にはめてください。
2. スプロケットにチェーン刃をかけてください。
3. ガイドバーの溝を本体にはめ込み、テンションナットがガイドバーの丸穴 A に入るようにテンションスクリューを回して調整してください。丸穴 B は使いません。
4. バーホルダをはめ、ナットで仮締めしてください。
5. ガイドバーの先端を持ち上げ、ドライバーでテンションスクリューを右に回し、チェーン刃がガイドバーの下側に軽く触れるまでチェーン刃を張ってください。
6. バーホルダのナットを付属のボックスレンチでしっかり締め付けてください。
7. ガイドバーの中央付近でチェーン刃を指で軽く持ち上げた時、ガイドバーから 3 ～ 4mm 浮くことを確認してください。

注

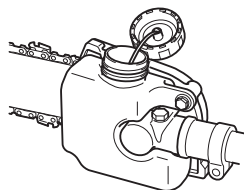
- チェーン刃の張りすぎは、ガイドバーの摩耗やチェーン刃の破損の原因になりますので、必ず適正な張りに調整してください。
- 新品のチェーン刃は伸び易いのでしばらく使用したものより頻繁に張りを調整する必要があります。

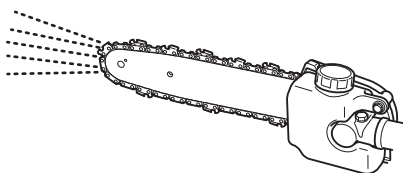
チェーン刃の調整

1. バーホルダのナットを 1 回転ゆるめてください。
2. ガイドバーの先端を持ち上げ、テンションスクリューを回して調整します。右に回せば張りが強くなり、左に回せばゆるくなります。
3. バーホルダのナットを付属のボックスレンチでしっかり締め付けてください。
4. ガイドバーの中央付近でチェーン刃を指で軽く持ち上げた時、ガイドバーから 3 ～ 4mm 浮くことを確認してください。

指で軽く持ち上げて3~4mm浮く

チェーンオイル

給油

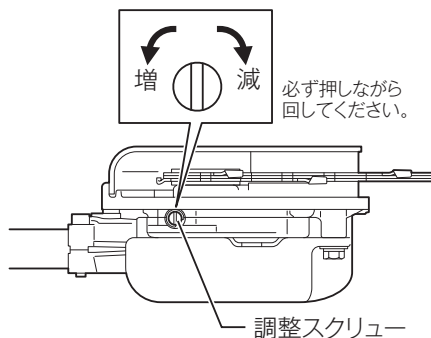
1. オイルキャップをはずし、オイルタンクにマキタ純正チェーンオイルを給油してください。
2. 給油後、オイルキャップを回して確実に閉めてください。

吐出点検

本機を回転させ、ガイドバーの先端からチェーンオイルが吐出しているか確認します。

注

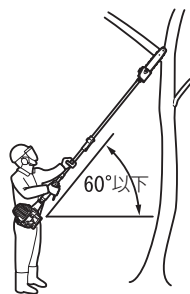
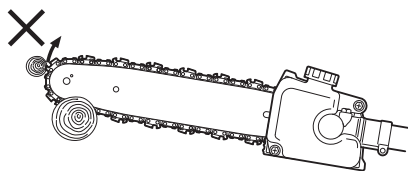
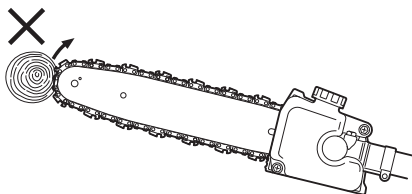
- 新品時や空タンクに給油した場合にはオイルが出てくるまでしばらく時間がかかることがありますので、高速回転は避けてください。
- 新品のチェーン刃使用時はチェーンオイルにしばらく浸けるか、組み込んだガイドバーとチェーン刃に直接オイルを注油してから使用してください。オイルが回っていないと焼き付く場合があります。
- 汚れたオイルは使用しないでください。オイルポンプの故障の原因になります。
- 本機使用中は、オイル量に注意し、少なくなってきたら補給してください。

給油量の調整

吐出量は３段階で調整可能です。硬い枝を切るなど、作業内容に応じて調整してください。

1. 本機下部の調整スクリューにマイナスドライバを差し込んでください。
2. マイナスドライバを押しながら右に回せば吐出量が少なくなり、左に回せば多くなります。

切断作業

⚠ 警告

- 切断する枝の真下付近には決して立たないでください。真下に落ちることもありますし、他の枝や地面に跳ね返って思わぬ方向に落ち、作業者にあたってけがをする恐れがあります。
- 周りの人は 15m 以内には近づけないようにしてください。
- このポールソーには感電防止の絶縁処理はなされていません。感電の恐れがありますので電線から 15m 以上離れて作業してください。
- 作業はシャフトの傾きが 60°以下になる位置に立って行ってください。

- 落ちてきた枝が作業者のほうに落ちる場合もありますので、足場のしっかりした、もしもの場合に逃げやすい場所に立ってください。
- ガイドバーの先端部での、切断はしないでください。また、ガイドバーの先端部を枝や地面などに触れさせないよう作業してください。
- 本機が跳ね返り（キックバック）、けがの原因になります。

⚠ 警告

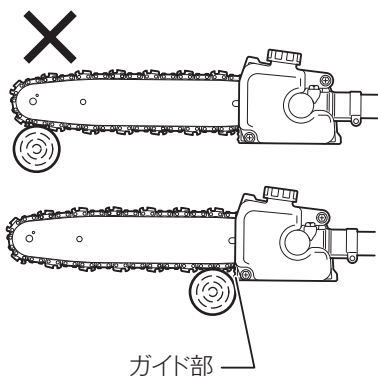
作業時には帽子またはヘルメット、防護メガネ、防振手袋、耳栓、安全ぐつ、長そで、長ズボン、さらに粉じんや切粉が多く健康を害する恐れがある場合には防じんマスクを着用してください。

・ 本機を動かし、チェーン刃を軽く枝に押し当てて切ります。
・ 回転数が低い状態で枝に強く押し当てて作業すると切断能力が落ちます。

注

・ チェーン刃を枝に強く押し付けて切ると、疲れるばかりでなく、チェーン刃やガイドバーの磨耗を早めます。
・ チェーン刃を枝に強く押し付けないと切れない場合は、切れ味が低下していますので研ぎなおすか、新品のチェーン刃と交換してください。

樹木の剪定

・ ガイド部に枝を軽く押し付け、チェーン刃を枝より離して製品を動かし枝を切断します。
・ 枝が落ちやすいように下の枝から順に切断してください。

注

・ ガイド部に枝が接していないと本機がガイド側に引っ張られ、刃先がブレますので注意してください。

保守・点検について

⚠警告

点検・整備をする際は、製品のスイッチを切り、充電式製品は、バッテリを抜いてください。エンジン製品はスパークプラグからプラグキャップをはずしてください。

・ 不意に製品が作動して、けがの恐れがあります。

チェーン刃の目立て

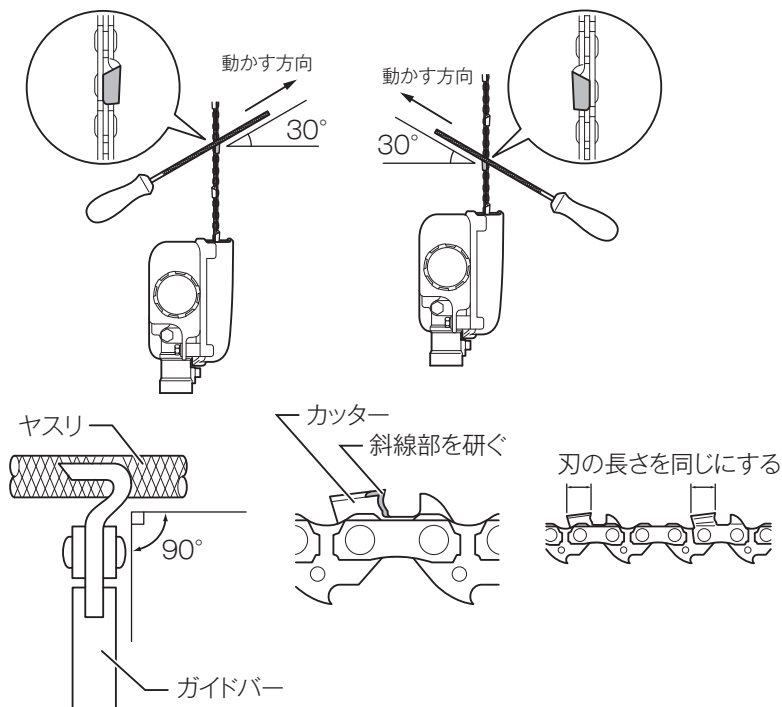
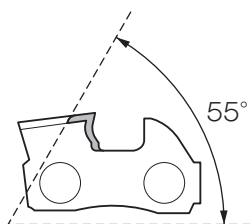
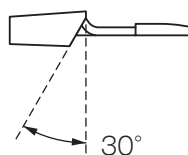
・ 切粉が細かくなってきた場合や、チェーン刃を枝に強く押し付けないと切れない場合にはチェーン刃を目立てする必要があります。

1. チェーン刃を強めに張り、本体をしっかり固定してください。
2. 直径 4.0mm（5 ／ 32"）のヤスリを使用し、カッターに当てヤスリの 1 ／ 5 をカッターの上に出します。
3. カッターのふところにヤスリを押し付けながらガイドバーの垂直線より 30°傾け、内側から外側にまっすぐに動かす。
4. ガイドバーに対しては 90°になるようにヤスリを動かしてください。
5. 片側のカッターを研いだ後、反対側のカッターを研いでください。長さや角度は必ずそろえてください。

注

- 作業能率はカッターの切れ味に大きく左右されます。こまめに目立てをすることをおすすめします。
- 目立てには必ず適正なヤスリを使用してください。

動かす方向
30°
動かす方向
30°

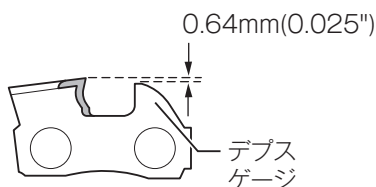
ヤスリ
90°
ガイドバー
カッター
斜線部を研ぐ
刃の長さを同じにする

91VXLの目立て角度

上刃（トッププレート）切削角度

上刃（トッププレート）目立て角度

デプスゲージの調整

・ デプスゲージによって、カッターが木に食い込む深さが決まります。

1. 目立てによってカッターの高さが低くなった場合はデプスゲージも削ります。
2. カッターの先端から 0.64mm（0.025"）下がった位置になるよう平ヤスリでデプスゲージを削ります。
3. 研ぎ終わったら、デプスゲージの先端をもとの丸みになるよう削ってください。

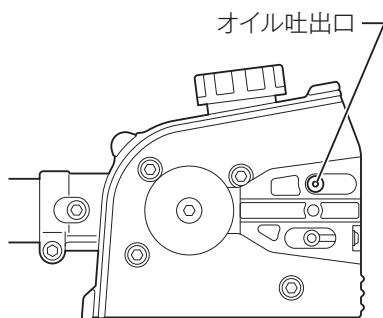
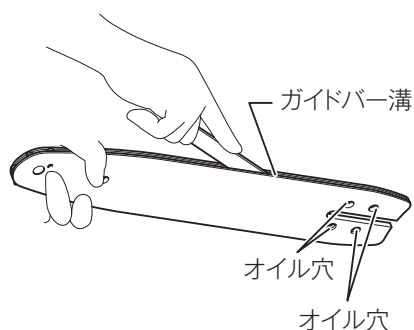
注

・ デプスゲージを研ぎすぎるとカッターの傷みが早くなりますので、削りすぎに注意してください。

デプスゲージセッティング

ガイドバーの手入れ

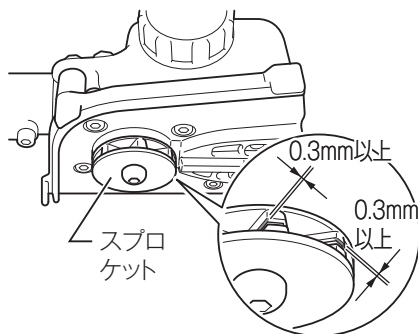
1. 1日の作業が終了したらガイドバーとチェーン刃を取りはずしてください。

2. ガイドバーの溝やオイル穴に付着している切粉やゴミを取り除いてください。特にオイル穴に切粉がつまっていないか確認してください。

3. 本体のオイル吐出口回りやスプロケット回りの切粉やゴミを取り除いてください。

注

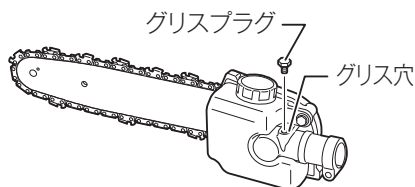
・ ガイドバー取付け時には偏磨耗防止と寿命を延ばすため、時々ガイドバーを上下逆に取付けてください。
・ オイル穴に切粉やゴミがつまっていると焼き付きのもとになります。

スプロケットの点検

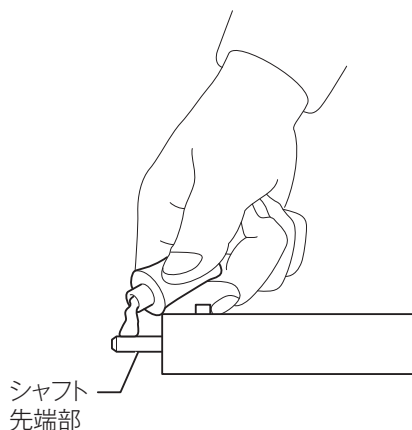
1. スプロケットを点検し、ネジがゆるんでいないか、摩耗していないか確認してください。
2. スプロケットが図のように 0.3mm 以上磨耗したら交換してください。そのまま使用するとチェーン刃の寿命が短くなります。

グリスの補給

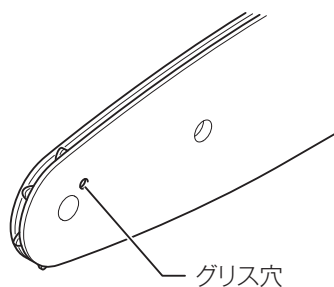
ギヤケース

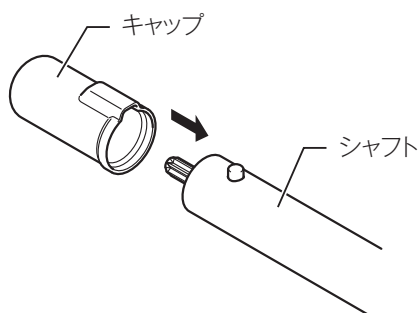
・ 25時間使用毎にグリス穴にグリスを補給してください。

1. 本体をシャフトから外してください。
2. グリスプラグを外し、ドライブシャフトを差し込むスプライン穴から出る程度（10g）グリスを注入してください。

保守・点検について

シャフト

・ 25時間使用毎にシャフト先端部にグリスを補給してください。
（シェルアルバニア No.2 相当）

ガイドバー

・ 10時間毎にグリス穴にグリスを補給してください。
（シェルアルバニア No.2 相当）

保管

・ 保管する際はシャフトの先端にキャップをかぶせてください。

故障かな？と思ったら

・ 修理を依頼される前に、まずご自身で点検を行い、その上でなお異常があるときは、取扱説明書の記載内容以外はむやみに分解しないで、お買い上げの販売店または、お近くの当社営業所にお申し付けください。

<table>
<tr><th>不具合の状態</th><th>原因</th><th>対応</th></tr>
<tr><td>・製品が動かない
・動いてもすぐに止まってしまう
・回転が上がらない</td><td colspan="2">製品の取扱説明書をご参照ください</td></tr>
<tr><td rowspan="3">チェーン刃が動かない
↓
すぐに製品を停止する</td><td>ガイドバーの損傷</td><td>ガイドバーを交換してください</td></tr>
<tr><td>小枝などの異物がチェーン刃に挟まった</td><td>異物を取り除いてください</td></tr>
<tr><td>駆動系の異常</td><td>点検整備をお申し付けください</td></tr>
<tr><td>製品が異常に振動する
↓
すぐに製品を停止する</td><td>駆動系の異常</td><td>点検整備をお申し付けください</td></tr>
<tr><td>チェーン刃や本機が止まらない
↓
エンジン製品の場合、エンジンをアイドリングにしてチョークレバーを“閉”にして止める
充電式製品の場合、バッテリを抜いて止める</td><td>製品の異常</td><td>製品の取扱説明書をご参照ください</td></tr>
<tr><td rowspan="3">チェーンオイルが供給されない</td><td>オイルタンクが空</td><td>オイルタンクにチェーンオイルを給油してください</td></tr>
<tr><td>オイル吐出口の詰まり</td><td>オイル吐出口やガイドバーのオイル穴を清掃してください</td></tr>
<tr><td>給油量調整がされていない</td><td>給油量調整スクリューを調整してください</td></tr>
</table>